

この三年を振り返って

横浜国立大学教育人間科学部
附属横浜中学校 同窓会会長 吉田守人



▲左 現会長 吉田守人 右 第5代会長 矢島孝一郎

今年の三月に第六五期生が同窓会に加入して、その数八〇〇二名を数えるに至りました。私も蝶間林前校長が本校に就任した時からですので、もう六年目となります。「やまなみ十二号」で抱負を述べたのですが、なか

なかなと思うようにはいきませぬ。ただ中学校、PTA、後援会には同窓会の存在価値を高く評価して頂いていることが何よりです。この「やまなみ十三号」で皆さんに知ってもらいたいことを簡潔にまとめてみました。

今後は附属横浜中学校創立七十周年に向けてコツコツと活動していきたいと思っています。

○小滝先輩に感謝!

私が会長職を務める前からですが、同窓会の総会、忘年会その他の記念行事にはいつも参加して、なおも写真撮影もしてもらっていただき感謝しています。参加者の写真を撮られた後にはその写真を各々の方々に送付されていることにはびっくりしました。今後はホームページの活用を再度検討して、みなさんにも同窓会の活動を写真で披露できたらいいなと考えています。

○附属横浜中学校校舎の歴史

昭和二十二年に附属横浜中学校が創立されたのですが、私が入学した時は鉄筋コンクリート造三階建ての校舎でした。創立時から数年は教室を確保することにはたいへんご苦労されたとの記録があり、後述の新井初代同窓会長も述べている通りです。「やまなみ十二号」の河地先生の記事を併せて読んでいただくことをお勧めいたします。

そして昭和五十六年に横浜国大工学部の常盤台への移転に伴い、附属横浜中学校も現在の弘明寺に校舎を移してきました。今年には第六十八期生が入学してきました。この長い年月を校

舎の写真で振り返ってみて、みなさんに附属横浜中学校の伝統を感じてほしいと思います。

○校歌を歌い易くするため

平成二十四年に十三期生の下井田博子(青山愛)先輩から校歌伴奏のCD作成の依頼がありました。皆さんは各期ごとに同窓会を多く開いていることは聞いていました。少しキーが高いので、伴奏の録音を録り直して、これを同窓会幹事に配る計画を立てました。当時中高一貫教育で話題になっていたのが、附属横浜小学校、神奈川県立光陵高校の校歌と横浜国大生歌を一枚のCDに収め、小学校、中学校、高校に配りました。この録音は附属横浜中学校音楽室を借りて行いました。学校関係者の皆さんには大変感謝しております。また伴奏を弾いてくれた伊藤さん(五十六期生)とプロデュー

スしていただいた下井田先輩にも感謝いたします。このCDは各期の幹事に配布してありますが、入手されたい方は申し出てください。また、「やまなみ十三号」に校歌の楽譜を掲載しましたので、これも利用して頂ければよろしいかと思

います。

○中学校を活用しよう

昨年、第五十四期生の関澤さ

んから働きかけがあり、「杉浦君・友池さん結婚」のためのビデオ撮影を中学校内で行いました。準備段階での打ち合わせでは先生方に過分の配慮を頂き、五十四期生の皆さんには満足のいく撮影になったことでしょう。(写真①) 仲介役として同窓会が中学校とのパイプ役を果たしたことは、今後同窓生の皆さんにとってもうれしいことだと思っています。大いに活用してください。

ここに記述したこと以外にも、図書室の充実化を図るため書籍の寄贈を続けていることやパソコンの寄付など附属横浜中学校の影の応援団として活動しています。今年と同窓生全員による総会が六月に控えています。皆さんの気づかれたことやご意見があれば同窓会まで届けて頂くようお願いいたします。



▲写真① 54期生の皆さん